

第20回NIE全国大会秋田大会

「問い」を育てるNIE ～思考を深め、発信する子どもたち～

公開授業社会科編還流報告

霧島市立国分小学校 角屋敷 修司

1. 授業内容

(1) 単元名 江戸幕府と政治の安定 ～我ら歴史新聞社「鎖国編」～

(2) 単元について

ア 徳川家光を中心とする幕府によって行われた、大名の配置や参勤交代による統制、身分制度や農民制度、鎖国の3つの歴史的事象から、武士による政治が安定したことを分かるようにさせる。

イ 単元の前半は、幕府による大名の配置や参勤交代などによる統制と、身分制度の確立について調べ、支配の仕組みが整えられたことについて理解を深められるようにする。

ウ 後半は、鎖国政策に焦点を当てて学習を進める。

(3) NIEの視点から

ア 鎖国を進めた幕府だけでなく、その影響を受けた様々な立場の人々について調べ、考え、表現する活動を歴史新聞として取り入れる。

イ 子どもたちが単元の目標を達成するために、NIEの3分野である「歴史活用学習」「新聞機能学習」「新聞制作学習」を意識して単元を構成する。

NIEの3分野	本単元での活動	メリット
「新聞制作学習」 (新聞に学ぶ)	○鎖国について、様々な視点で記事を書く。 ○5W1Hを意識して記事を書く。 ○記事に見出しを付ける。 ○新聞の構成を考える。	・社会的事象について様々な視点で考えることができる。 ・情報を主体的に捉えることができる。 ・視点を明らかにしながら取材に(調べる)することができる。 ・社会的事象の意味について、思考・判断したとを適切に表現することができる。 ・構成を考えたり、見出しを付けたりするために、社会的事象についてさらに深く考えることができる。
「新聞機能学習」 (新聞を学ぶ)	○主語(視点)を明確にする。	・視点を明らかにしながら、記事を書いたり読んだりすることができる。
「新聞活用学習」 (新聞で学ぶ)	○記事を読み、自分の立場を明らかにしながら考えをまとめる。 ○互いの考えを出し合う。	・社会的事象に主体的に関わることができる。 ・多様な考えにふれることで、社会的事象を比較・関連・総合して考えることができる。

学習活動と予想される子どもの姿

学習活動の様子の実際

1 本時のめあてを確認する。

歴史新聞を読み、鎖国についていろいろな立場から考えよう。

2 前時までに作成した新聞記事を読む。

【見出しの例】

<大名の視点>

- ・ついに貿易禁止に ～武器に入らず～
- ・幕府が貿易を独占

<キリスト教信者の視点>

- ・「年貢減らせ」の声届かず～島原・天草一揆～
- ・キリスト教認められず

<国内に住む人々の視点>

- ・外国の文化、途絶える
- ・各地で踏絵始まる

<国外に住む人々の視点>

- ・日本へ帰国禁止に
- ・ついに母国へ帰れず



左写真：
活動2
(紹介)

右と下：
活動2
(読み取り)



3 それぞれの記事を基に話し合う。

徳川家康の「鎖国」政策を支持するか、それとも支持しないか、歴史新聞を基に考えよう。

【支持する】

- ・貿易を独占したことで、幕府の力が強まったから。
- ・大名が反乱を起こせなくなり、平和になったから。
- ・外国の侵略を防ぐことができたから。

【支持しない】

- ・外国の新しい文化が入ってこなくなったから。
- ・海外に住む日本人が帰れなくなったから。
- ・多くのキリスト教信者の命が失われたから。

【どちらとも言えない】

- ・犠牲がたくさん出たが、結果的に平和な時代が続いたから。



左：
活動3
(意見
交換)

右：
活動4
(見出し作り)



4 歴史新聞の見出しを考え、本時を振り返る。

【主見出しの例】 ついに鎖国完成！

【脇見出しの実際】

- ・家光、平和導く
- ・幕府の力、さらに強まる
- ・争い減少、平和な国へ



左：
活動4
(見出し
の発表)

